

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之
幹事 堀田一彦

創立 1986年



第1667回例会

令和3年5月13日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- CKB実行委員長 青木哲也様

○スマイルBOX

- 吉野敬之会長 (青木先生本日は卓話いただき有難うございました。又6/20の講演会、クリーン作戦ではお世話になります。宜敷くお願い致します。結婚記念日のお祝い有難うございます。来年も頂ける様妻孝行をしたいと思えます。)
- 堀田一彦幹事 (青木先生ようこそ！卓話ありがとうございました。)
- 青木大会員 (昨日、JCのゴルフコンペがあり、ベスグロと準優勝する事ができました。6月6日もロータリーのコンペがんばります。)
- 鶴丸彰紀会員 (先週お誕生日のお祝いを頂きまことにありがとうございました。ケーキは家族でおいしく頂きました。青木先生本日は卓話ありがとうございました。子供たちの笑顔のために皆一緒にがんばりましょう。)
- 吉田充会員 (青木先生本日は卓話ありがとうございました。また6月20日の35周年記念事業でお世話になります。)
- 宮本多可夫会員 (CKB青木先生、本日は卓話ありがとうございました。)
- 金田昇会員 (先日の第一回クラブ協議会お疲れさまでした。いよいよ次年度が見えてきました。良いスタートが切れますようご協力お願いします。)
- 中目公英会員 (CKB実行委員長青木先生、ようこそ白河西RCへお越しいただき、卓話をありがとうございました。2.13福島県沖地震のお見舞い金を頂戴し、ありがとうございます。南湖神社の境内復興工事代として使わせていただきます。)
- 永野文雄会員 (喜多方RCの「佐原元パストガバナー」の訃報をいたみまして。ゲストの青木先生、今日はありがとうございました。これからも「CKB野球」よろしく願います。)
- 関谷亮一会員 (青木先生ようこそおいで下さいました。よろしくお願い致します。中目公英会員の県知事自然保護功労受賞おめでとうございます。結婚記念品をいただきありがとうございました。)
- 佐川京子会員 (青木先生ようこそおいで下さいました。今日は、お見舞金をいただきまして、ご心配をいただきましてありがとうございました。)

▶第1667回例会出席状況 (R3年5月13日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	49名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	63名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	7名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	44名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	59
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	74.5%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

吉野敬之会長



皆様、こんばんは。九州南部は梅雨入りしました。ここ東北は、まだ梅雨入りはまだですが、雨の中今日も沢山例会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日のお客様をご紹介させていただきますと思います。青木哲也先生です。後で詳しくご紹介はさせていただきますが、皆さんご存知のように当クラブで後援しておりますC K B野球大会におきまして、実行委員会の中心的な役割をしております、今、大信中学校で野球部の顧問をされてる先生でございます。青木先生には私共の35周年記念事業といたしまして、クリーン作戦並びに中村文昭先生の講演会に関しまして、本来であれば1月に開催の時に生徒さんを動員していただけるということだったんですが、諸般の事情で6月20日に変更させていただいたわけですが、こちらのほうでも非常にご協力いただけるということで、その辺を含めまして後程卓話のほう頂戴する予定でございますので、よろしく願いいたします。次に、今日はちょっと残念なお知らせがございます。ご存じの方も多数いらっしゃるかと思うんですが、2001-2002年度ガバナーをお努めになられました喜多方ロータリークラブの佐原元パストガバナーが5月7日に御逝去されたということでございます。非常に2530地区には多大なご貢献をされた方です。故人を偲びまして黙祷を捧げたいと思います。しばし皆様ご起立の上、黙祷をお願いいたします。黙祷。お直りください。

どうぞご着席ください。確実なお話だとは思いますが、佐原先生はコロナのほ



うに罹患されてお亡くなりになりました。また、罹患をしたといいますか感染経路といたしまして、ロータリーの活動の会合等で感染をされたというような話が出ておまして、それを受けたわけではないんですが、今現在、いわき地区、会津地区を中心といたしまして緊急特別対策実施期間ということで、福島県も全県下

で緊急事態という形で捉えられています。それに併せまして、地区のほうからも先日も一部活動等に関する制限のご案内があったわけですが、さらに本日、今までこのような状況を鑑みて当地区といたしましても、5月31日まで各クラブにおける例会をはじめ、会食を伴う多数が集合される活動はリモート開催、または中止、延期となさるよう慎重なご検討をお願いいたしますということで、ガバナーのほうから文章が参っております。本日、理事会がございますので理事会の席上、今後の取りあえず5月末までの残り2回の例会に関しまして、どのような形でやるかということはちょっとお話をさせていただきたいと思います。決定いたしましたら、皆様のほうには即時ご連絡差し上げますが、もしかするとリモートも中止というふうになりかねないかなということでございますので、皆様方もその際は是非ご理解いただきたいと思っております。それとまた話は全然変わるんですが、先日地区の会員増強セミナーというものをズームにて開催いたしました。これは特に毎年、多分会員増強に関しては地区のほうでは非常に力を入れてるというようなお話はあるかと思うんですが、今年は特にそういうお話が強くなってるような気は私はするんですが、この地区では地区のうちは県南分区と会津分区と合同でセミナーをやらせていただきまして、その中でいろいろとお話がありまして白河西さんは今6名の増強がなされていて、あと2名は確実ですというお話が流れているらしく、石黒ガバナーはもう頭の中に8という数字しかないらしいですが、それはちょっとこの前ご説明しましたが、どうしてそんなに増強がこの時期にできるんですかというようなことで、ガバナーに、居川先生という方をはじめとして、特攻隊がいるんですというようなお話をさせていただきました。それで、私もかなり増やしているんだろうなと思っておりましたが、これはガバナーズのほうに出てるんですが、実は郡山南さんは10名増やしております。郡山南さん68名くらいのメンバー数でございます。うちと同じような規模で更に10名増やしているということで、2番目に多いのがちょっと私メモを忘れてきちゃったんですけども、皆さんのガバナーズを見ると、メンバー数というのは全部出ているのでわかりやすいかと思うんですけども、確か4名から5名ほどの増強で第2位だったと思います。わたくし共はまだ先月末でしめているので2名の増員がそこに

は含まれていないので、一応4名で掲載されていると思うんですが、2名増員で6名までは確定しております。そういうことで。これがどこから出た話かはわからないんですが、プラス2名になって8名になると県内でも2番目の増強ということになるかと思っておりますので、もし皆様のお知り合いの方いらっしゃいましたら是非ご紹介いただいて何とかまた2名できたら、それはそれで嬉しいなということを思ってる次第でございます。最後に今週、次年度のクラブ協議会が開催されました、第1回ということで。いよいよ、次年度に向けて鈴木孝幸エレクトの年度がやっとスタートしたということで、こういうコロナの環境下ということで飲食は避けてということで、「赤門」さんの美味しいお弁当を皆、持ち帰りということで飲食を伴わないで会議だけを行って、それで解散ということでございました。帰り際に出口の所の階段で私はタバコを吸っておりましたら、中目パスト会長が私の隣を通りながら、乾杯が直前会長のお仕事ということですので、本来であればクラブ協議会でも私の乾杯があるはずでございましたが、私は30分くらいの長い挨拶を考えてたんですがちょうどなかったもんですから、というようなことがあって中目パスト会長が「吉野君、今年も残念だね。やりたいこともできなくて。もうあと一年くらいやった方がいいんじゃないの。」と凄いニコニコしながら通り過ぎて行きました。そっくりそのまま去年、中目さんにお話した内容だなどと思いつつながら、歴史は繰り返すなどということを思いました。残り来週再来週の例会がどうなるかはわかりませんが、残り1か月ちょっとというふうになりました。最後まで皆さんと共にロータリー活動できるだけ頑張っていきたいなと思っておりますので、最後までよろしくお願ひいたしまして会長の時間といたします。今日は、青木先生よろしくお願ひいたします。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- 国際ロータリー日本事務局 業務・IT室：青少年奉仕月間 リソースのご案内
- 国際ロータリー日本事務局 経理室：国際ロータリー日本事務局経理室より2021年5月RIレポートのお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区 2020-21年度ガバナー 石黒秀司、職業奉仕委員会委員長 初瀬照夫：第2回

職業奉仕委員会セミナーオンライン～ZOOM～のご案内

- 喜多方RC：〈訃報〉2001-02年度RI2530地区ガバナー 佐原元様
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナーエレクト 志賀利彦、地区研修・協議会実行委員長 松本俊一、次期地区幹事 蛭田修二：「地区研修・協議会」プログラム・資料の送付について
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナーエレクト事務所：地区研修協議会YouTube配信について
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒秀司、地区危機管理委員会委員長 芳賀裕：「新型コロナウイルス感染防止に関する緊急通知（注意喚起）」について
- 白河市赤十字奉仕団 委員長 安澤荘一：令和3年度白河市赤十字奉仕団連絡協議会資料の配付と書面審議のお願いについて
- 全国ロータリークラブ野球大会 大会事務局 担当 釜田：2020-21年度全国ロータリークラブ野球大会中止のお知らせ
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒秀司、米山記念奨学会委員会委員長 阿部光司：米山記念奨学委員会オリエンテーション変更のご案内
- 2020-21年度 会長 福島昭、幹事 高田幸生、担当 20周年実行委員会委員長 平井博：深谷ノースロータリークラブ創立20周年記念開催のご案内
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒秀司、RLI委員会委員長 鈴木和夫：ロータリーリーダーシップ研修会（RLI）第3期パートⅢ開催のご案内
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナーエレクト 芳賀利彦、地区研修・協議会実行委員長 松本俊一、次期地区幹事 蛭田修二：「地区研修・協議会」プログラム・資料の送付について
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナー事務所：社会・国際奉仕委員会アンケート報告
- 公財）ロータリー米山記念奨学会 事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま254号

■地震被害のお見舞金贈呈式

○金田昇会員、中目公英会員、佐川京子会員



■本日のプログラム

ゲスト卓話

○青少年奉仕委員会

吉田充委員長



それでは、ご紹介させていただきます。青木先生とはC K Bの前の29代会長の前原パスト会長の時代に、村上さんと一緒に呼ばれて初めて会ったのですが、その時にC K Bの前進の野球大会を支援してほしいということでやらさせていただきました。それで30代の時に、その周年事業としてうちのほうの西ロータリークラブ旗というふうな優勝旗を作りまして、それを目指して各中学生が争奪戦を繰り広げるといふような大会に育てていったというような経緯がございます。また今回、35周年を迎えるにあたって青木先生と2年か3年前に飲んだ時、何かロータリーでやることがあったらお手伝いさせてくださいというようなお話をいただいていたので、それを今年、青木先生にお話したら快くお引き受けいただいて、ロータリーの35周年記念事業として市内清掃活動と中村文昭氏の講演会に積極的に中学生の生徒さん達と保護者の方々に参加いただくというような形で支援をしていただき募集していただいた経緯がございます。1月の時に、既に140名くらいの方が登録されていたんですが、コロナで大変残念でございましたが延期という形を取らせていただいて、今回6月20日の日に再度チャレンジしたいということで、今計画してやっています。コロナで福島県も大変な状況に



なっていて、多分6月20日に開催できるかどうかというのはまだわからない状況ではあるんですが、多分ピークが過ぎて下がってきた時に、今度は6月20日を迎えられれば、このままいけるかなというふうに考えております。そのことも青木先生のほうからお話をいただいて、流れをひとつ若い世代に知っていただければなと思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○C K B実行委員長

大信中学校 野球部顧問 青木哲也様



それでは、改めまして皆様こんばんは。不慣れなものです、大信中学校の野球部顧問、そして県南地区の中体連の委員長をやらせてもらっております青木哲也と申します。初めての方、大変申し訳ありませんがちょっとお話にお付き合いいただければ大変ありがたいです。よろしくお願ひします。本当にC K B大会のことを思い出すと、涙なしには語れないくらい沢山のいろいろな人の支えや思いや、これからの未来に向けてというような熱い気持ちでスタートした大会で、今もお熱い思いで先生方と協力しながら大会をやらせてもらっております。東日本大震災が起きて、その後の風評被害で福島県内が大きく苦しんでいたところ、中体連の全国大会の野球のほうで福島で行われるということが決まりました。そういった事の福島県での全国大会の中体連。福島県勢が何とかその中体連の全国大会でも上位入賞を果たせるようにということで、県のほうから強化金というのが出たんです。そのお金を使ってうちの地区としても切磋琢磨して行えるような大会。そして、その新しい流れというか、よその県の私学の血気盛んな学校の野球というものを皆で見て、そこからまた学びたいというところでの逗子開成中学校。武相高校の野球部、日体大出身の栄先生が率いる逗子開成中学校の監督さんと、そのちょっと前にお会いしてお付き合いさせていただいたところもあり、そこからお招きをしてうちの地区の学校と逗子開成で大会をやるというのがきっかけでした。その時の、本当に風評被害というのが例えば自分たち神奈川に遠征行っても、県産のものは給食で出すとかそういったようなグロテスクな話題が本当に聞こえてくるような時期でした。そんな中、野球部員40

名、保護者20名、総動員で3年生も連れてきたいというふうに言ってくださった逗子開成の栄先生と共にCKB大会をやってきました。そんな後ろ支えをロータリーさんのほうでやっていただきまして、立派な優勝旗を作ってください、その優勝旗を中体連の大会の優勝旗とか以上に、輝いて大きい立派な重たいずっしりとくるそういった優勝旗を作ってください。そんな中で、大会がスタートできたことを本当に今でも幸せだと思っておりますし、それがこうやって続けられていることも大変ありがたく思っております。それで昨年は、コロナにおいて神奈川が自分たちも遠征でいけなかったり、あっちの中学校のほうも地元のほうに福島のほうには来れないというところで、本当に申し訳ないのですがそのCKB大会というネーミングは使えないということで、ゴーゴー県南でカムバックというところで違う名前やらせてもらってはいたんです。今年についても、4月の段階でも是非また来てくださいと、喜んでいきますというようなやり取りをさせてもらっているというのがまず一つあります。そんな中で、本当にまた8月の終わりに大会ができることを切に願って、自分達もできることを毎日積み重ねながらコロナが終息することを願って、子供たちとも絶対にやれるんだというような気持ちで毎日部活動に励んでおります。そんなところで、風評被害、あと全国中体連の強化策事業でスタートさせていただいたCKB大会がこうやって長くやらせてもらっているのは、本当に後ろ支えをしてくださっている西ロータリーさんのご尽力で本当にありがたく思っております。今年もコロナ禍ではありますが、全力でやれる方向に自分たちもやれることをしっかりやって繋いでいければと思いますので、よろしく願います。さて、野球事情のほうをちょっとお話させていただきますと、今、部員調査が中学校単位で県南地区終わりました。今年の軟式野球の県南地区の石川義塾も全部入れた野球部員数が1年生から3年生で320名です。21校ありまして、そのうちの石川義塾中は40名を超えています。そう考えると今、1年2年3年を入れて平均すると10人ちょいというのが現状です。ということで、本当に10年前15年前から考えると考えられない部員数で今野球が行われています。新人になるとここから3年生は抜けますので、間違いなく連合チームがこの地区でも多数出てくると思うんです。CKB大会は新チームで開催する

ことになりますので、本当に部員が足りない学校、連合チーム等々出てくるとは思うんですが、そんな中でもスタッフのほうとしては今まで以上にこの大会、野球やってて良かったと言えるような後ろ支えや指導のほうを頑張ってやっていきたいと思っています。ということで、野球部事情は今、うちの地区以外にも全国的な問題なんですけどそういったところがありまして、そんな中このCKB大会は県南地区で唯一中学生全員が集まれる開会式をやらせてもらえてるということで、子供たちにも沢山の刺激にもなっています。また、入場行進の時間も取らせていただいているので、県大会と同じような緊張するような雰囲気も味わえて、中体連以上に豪華な開会式ができているということで、子供たちにも良い影響が与えられていて助かっております。感謝申し上げます。今年も何とかそんな形でやれることを切に願いつつ日々を送っていきたくと思っています。今、目前に迫っているのが中体連の地区大会です。この間の会議で、中体連のほうは開催はする。ただし、開会式は行わない。観客は無観客とする。試合以外の補助員等は選手は使わないというような本当に制限付きの大会ではあります。ただ、去年の3年生、今の高校1年生はそれがなくて可哀そうな6月を過ごした中で、何とかそれが今のところやる方向で地区大会進んでいるということでほっとはしています。またジャイアンツ杯、FCTさんが主催で行っていますジャイアンツ杯のほうも県大会の会議、今週末オンラインではあるんですが自分のほうも参加させていただいて、県大会泉崎のほうでまた今年もやる予定でおります。ということで、部員がどんどん少なくなっている中、県南地区で沢山の大会がある中、そんな中でも全員が集まれる唯一の開会式が行えるCKB大会、今年も何とかやれるようにスタッフ一同全力で取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ご理解ご協力をいただきながら、子供たちのために全力で大会運営していきたいと思っておりますので、ご理解ご協力をいただきながら頑張っていきたいと思っております。話が二転三転してうまく喋れなかったんですが、そんな形でまた本年度も頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。今日は、ありがとうございました。

○青少年奉仕委員会

吉田充委員長

青木先生、本日はありがとうございます。今、お話を聞いてCKBの生い立ちのところが新しく入った会員の方々は特にそれを聞いて、こういう部分で始まった事なんだというのがわかっていただければと思います。それと、この大会もそうですし、青木先生の話の聞くとやはりその人と人との繋がりがやっぱりこの大会に繋がっているんだというふうに思いました。CKBという形を去年は使えない。何で使えないのかなと私ちょっと思ったんですね。その理由がやっぱり神奈川の逗子開成さんがこちらに来る大会があくまでもこの地域の子供たちに刺激を与えた大会になるというか、そこから学ぶことがあるというふうな流れなのかなというふうに今改めて感じました。今回、去年と今年これからどうなるかまだわかりませんが、できればそういった形でCKBが開催できればいいなと思っています。また、本当に今回のこの記念事業に関しても、西ロータリークラブと青木先生との野球の先生方を通してなんでしょうけども、子供たちに何かをしてあげたいという青木先生の思いを私がその話を聞いた時に感じた部分があって、その中学生の子供たちを巻き込んでという言い方が正しいのかどうかはわからないのですが、そういうふうな部分で清掃活動をやりながら西ロータリーの会員の皆さんと一緒に、ロータリーの我々も中学生と一緒に清掃活動をすることで、何かまた新しい出会いがあったり学びがあったりというふうな形になるのかなと思いますので、是非コロナが落ち着いてきて最終的には会長がやると言えばやるんですけども、そんな部分で是非会員の皆さん、中学生と一緒にごみ拾いをして中村先生の講演会を聞いていただきたいなというふうに思います。35周年の最後の事業になると思いますので、吉野会長もその部分に対して熱い思いがあると思いますので、会長のほうからもうちょっと話をいただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。本当に青木先生、今日はありがとうございます。お世話になります。

○吉野敬之会長

それでは、謝辞を述べさせていただきたいと思ひます。本当に今日はお忙しい中、またコロナ禍ということとでなかなかこういう場所に出られるということも、躊躇するような時期なのかなというふうには思ひます。

その中で、やはりここ数年来お付き合いさせていただいたそういったものを大切にさせていただいてお越しいただいたその友情といいますか、その気持ちに感謝を申し上げます。ちなみに、わたくしの次男坊が野球部でございまして、今高校3年生で旭高校で硬式野球をやっております。今年の1年生が、今の旭高校は4クラスになっております。一学年の定員が160人でございます。以前、私たちの時代はこれはもうみんな昔はって話になるとあれなんでしょうけど、8クラス320名だったかと思うんですが、今はその半分160名になっております。今年の1年生の新入部員が5名でございました。5人しかいないのかって言ったら、旭高校は160人中男子生徒が58名しかいないらしいですね。そこに陸上部とかはちゃんと残ってるんですけど、男子バスケットとか男子のバレー部とか水泳部、過去にはあった部活が結構カットされておまして、それでもやはり58名の男子は取り合いになるらしいですね。本当に人数が減って、しかも野球人口もやはり減ってるなという中で、このCKBをはじめとした青木先生方の活動が今後の野球人口の増加の一助、もしくは低下防止の一助になれば私たちも非常に嬉しいなと思ひますし、ここ数年来の活動を通じて一番感じるのは、もちろん野球を通してということなんですけど、やはり教育なんだろうなと。先生方の気持ち、それを携えて下支えというお言葉使ってましたけど、そういった方達の気持ちというのが生徒たちに伝われば、やはり生徒たちはそれを感じて成長していくんだろうなというふうに感心しております。ちなみに、審判長が吉野さんという方ですよ。まあ、吉野さんという方はどこに行っても良い人ばかりで、一部上場企業の部長さんか取締役、こちらは中小企業のおやじでございまして、非常に吉野さんというのはどこに行っても良い方が多いということでございます。そういった意味では、今後共是非支えさせていただきたいと思ひますし、是非是非続けていっていただきたいなと思ひますので、よろしくお願ひいたします。今日は、非常に貴重なお話をいただきましてありがとうございます。